

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 018	提案機関名 県央地域県政総合センター
要望問題名 センシング技術及びドローンを活用した鳥獣害対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】 酪農業においてカラスが搾乳牛の乳房や尾根部等をついばみ怪我を負わせる事例があります。怪我がひどい場合には当該牛は廃用せざるを得なくなります。餌箱に蓋をすることや牛舎周辺に網を施すなどの対策は牛舎の形態や規模によっては限界があります。また、市町村、JAの許可、協力を得て実施する捕獲も継続的な実施はむずかしいです。 【内容】 そこで、昨今のドローンの農業利用やセンサーの発達により自動的にカラスの敷地内侵入を感知し、追尾、排除（追い払う）する装置の開発を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	本件について研究で行うことは困難ですが、民間で様々な製品が出ている状況ですので、適宜状況を把握して情報提供していきたいと思えます。 また、搾乳牛のカラス被害対策については、防鳥網の設置が基本と考えますが、他の技術を含めて引き続き情報収集に努めます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			